

# 地域、企業、マスコミとタイアップ したふるさと発信プロジェクト

～ほんもの体験で真の言語力と確かな自信を！～

香南市立吉川小学校

〒781-5241  
高知県香南市吉川町吉原65

<http://www.kochinet.ed.jp/yoshikawa-e/>

## 1 はじめに

本校のある吉川町は、高知県香南市の海岸沿いに位置し、産業の中心は農業と漁業である。地域の教育に対する願いや学校に対する関心も高く、学校への協力も惜しまない風土がある。地域住民は勤勉で、苦しい生活のなかでも前向きに生きてきた歴史をもっている。

本校は、「わたしがすき、なかまがすき、ふるさとがすき」を学校教育目標として、自尊感情を高める実践を行っている。これまで、文部科学省の豊かな体験活動推進事業及び人権教育研究指定を受け、豊かな人権感覚を基盤に、体験的・問題解決的学習の研究を進めてきた。

## 2 研究の目的

本校の児童は学年を越えて仲が良く、学校全体に家庭的な温かい雰囲気もある。しかし、全校児童数が66名と少数のため、人と関わって様々な経験をすることが少なくなっている。そのため、自分の思いを適切に表現することが苦手で、引っ込みがちな子が多いなどコミュニケーション能力に課題がある。そこで、体験的・問題解決的学習を進め、地域や企業を巻き込んだ本物の学びを通し、児童のコミュニケーション能力を伸ばす活動を全ての学年において展開することによって、自尊感情を高めたいと考えて研究を実施することにした。

## 3 研究の方法

これまで本校が進めてきた「感じる子 考える子 かかわる子」を研究主題とした実践の中核に本研究を位置づけ、研究推進委員会を中心に授業力アップ部会と子どもの育ち部会の2部会に分かれて次のように研究を進めた。

- (1) 標準学力調査、Q-Uなど各種調査、アンケートで児童の実態を把握する。
- (2) 取り組みは、生活科や総合的な学習の時間を使った「いきいきタイム」を中心にして、各教科と関連させる。
- (3) 教員自身が地域の取材やフィールドワークを行い、その結果をまとめた資料をもとにワークショップを行って「いきいきタイム」の年間学習計画を作成する。

- (4) 地域との連携を基盤に、地域の「ひと・もの・こと」との出会いを通じた体験的・問題解決的学習を進めていく。
- (5) 講師を招聘した授業研究や計画的な校内研修を実施する。
- (6) 児童の学びを友だち集会で他学年や保護者・地域の人に発表し、双方の意見交流をすることによって、コミュニケーション能力の向上を図る。
- (7) マスコミや企業とタイアップして、児童の学習成果を町内外に発信していくことによって町を活性化させる。

#### 4 研究の内容

本校の「いきいきタイム」では、吉川町内外の「ひと・もの・こと」との出会いを仕組み、さまざまな体験や、人の生き方などにふれることで、児童に「感じる・気づく」「考える・知る」「かかわる・働きかける」力をつけたいと考えている。同時に、このような学習を進めることによって、児童自身や家族、ふるさとを誇りに思う気持ちを育みたいと考えて取り組んでいる。また、体験学習を体験だけに終わらせず、しっかりと振り返りまとめるために、全校児童や保護者・地域の人 앞에서友だち集会を実施している。友だち集会では、学習のまとめを発表するだけでなく、質問を受けたり感想を交流することでコミュニケーション能力の基本である「対話」できる力を育て、全校児童が互いのよさを認め合う場となるように考えて実施している。

##### 【平成23年度いきいきタイム年間学習計画】

|     | テーマ            | 1 学期  | 2 学期                                       | 3 学期   |
|-----|----------------|---|--|--|
| 1 年 | だいすき吉小、だいすき先生  | 学校のひみつ調べ隊<br>学校探検<br>私だけのひみつを見つけよう            | だいすきな小学校<br>花いっぱいにし隊<br>「命のバトンタッチの会」       | わたしの成長見つけ隊<br>いっしょがいいね<br>家族にここに大作戦<br><u>友だち集会</u>      |
| 2 年 | 大切な私、大切な家族     | 家の中の仕事を調べよう<br>働く家族を見てみよう                     | 家族の仕事、教えま<br>す<br>家族自慢大会<br><u>友だち集会</u>   | おじいちゃんおばあ<br>ちゃんと言葉をしよう                                  |
| 3 年 | もっと知りたい！大すき、吉川 | 校区探検に行こう！<br>「吉川お宝探し探検隊」出発！                   | 校区探検に行こう！<br>「吉川安全マモリ隊」出発！<br><u>友だち集会</u> | 安全マモリ隊 発信！<br>・カルタ大会<br>・ポスター看板設置<br>・安全マップ作成            |
| 4 年 | ふるさとワーク        | 町の仕事を知ろう<br>町の仕事に挑戦                           | 受け継ぐもの～旅するラッキョウ～<br>ラッキョウの仕事に挑戦            | 仕事の移り変わり～ラッキョウの仕事を中心に～<br><u>友だち集会</u>                   |
| 5 年 | ふるさとズーム今・昔     | ラッキョウ大売り大作戦！！～旅するラッキョウ・ファイナル～<br><u>友だち集会</u> | あるある吉川大作戦<br>吉川の良さをアピールしよう                 | 売り出せ吉川<br>もっと元気な町に！<br>(コマーシャル作り)                        |
| 6 年 | しあわせ           | 平和を祈り生きる<br>オリエンテーション<br>課題別学習                | 命を守り生きる<br>震災を乗り越えて生き抜くために                 | 命を守り生きる<br>震災を乗り越えて生き抜くために<br>生きる一夢を抱いて～<br><u>友だち集会</u> |

## 実践1 5年生いきいきタイムの取り組み

5年生では、地域の特産物であるラッキョウを通して吉川を自慢する学習から始まり、吉川町の良さをCMとして発信する学習を次のように行った。

### ○「吉川じまんのラッキョウ、いかがですか」（1学期）

- ① 4年生の2学期から栽培してきたラッキョウを収穫し、酢漬けの製品化した。
- ② 製品化した酢漬けのPRと販売体験を町内外で行った。
- ③ 4年生の時に開発したラッキョウを使った料理から「肉巻きラッキョウ」を市内の料理店に売り込み、店のメニューに入れてもらったり、「ラッキョウジュース」を清涼飲料水の工場見学時にプレゼンテーションをした。
- ④ ラッキョウに関する学習をマスコミにPRして地元のケーブルテレビやローカル放送局のニュース番組で放送してもらった。
- ⑤ ラッキョウについての学習をまとめ、友だち集会で全校児童や保護者に発表した。



### ○「お宝探し探検隊ーラッキョウに続くお宝を探そうー」（2学期）

- ① 吉川町には何もないと思っている町の人々の意識を変えるために、吉川町の良い所をグループに分かれて調べて発信する計画を立てた。
- ② 「町の人がいつもきれいに整備している錦公園」「吉川町に伝わる伝統芸能、太鼓・獅子舞」「町民のための地産地消のお店、天然色市場」の3カ所について、フィールドワークをしてデジカメで写真を撮ったり、インタビューなどを行って調べた。
- ③ 調べた良さを模造紙にまとめ、地域の公民館や天然色市場で発表会を行った。
- ④ 調べたことをもとにして、吉川町のCMを作成するため、ゲストティーチャーからCMづくりのノウハウやビデオ撮影の仕方について学習した。
- ⑤ デジタルビデオカメラでCM撮影を行って、ゲストティーチャーに協力してもらって編集作業を行った。
- ⑥ できあがったCMを協力していただいた方にお披露目すると共に学校のホームページで流すようにした。



5年生の実践では、ラッキョウの酢漬けの販売や児童が考案したラッキョウを使った料理を市内の料理店でメニューとして出してもらうことができ、意欲的に学習に取り組むことができた。児童は、収穫から販売に至る過程での苦労や、完売できたときの喜びなどを味わうことができた。また、この一連の学習を県内のテレビ局や市内のケーブルテレビ局が取材して特集番組を放送し

てくれたおかげで、町内の人々にも喜んでもらうことができた。

2学期の学習では、吉川町の良さについて調べたことをCMとして発信する過程で、日頃テレビで何気なしに見ているCMを制作するうえでの難しさ、特に、限られた時間、限られた言葉で表現する難しさなどを学ぶことができた。児童たちにとって、絵コンテの作成やデジタルビデオカメラでの撮影・編集作業は初めての経験であったため、ゲストティーチャーの支援なしではできなかったが、プロの方と接することで操作技術だけではなく、自分の将来の仕事への夢を抱く子もいた。

児童数の少ないことをマイナスに捉えている保護者や地域の人もいるが、少人数の良さを活かし、積極的に校外へ出かけ様々な体験的・問題解決学習を進めることで大規模校ではできない実践ができたのではないかと考えている。

## 実践2 6年生いきいきタイムの取り組み

6年生は、本年度「命を守り生きる」～震災を乗り越えて生きぬくために～を学習テーマにして次のような学習を進めた。

- ①地震や津波、防災についてKJ法やウエービングで自分たちの課題を見つけ学習計画を立てた。
- ②東日本大震災の状況や近い将来必ず発生するとされている南海地震について、資料やインターネット、DVDなどで調べた。
- ③吉川町で過去に起こった昭和の南海大地震の被害状況や津波の様子などについて、地域の高齢者から聞き取りを行った。
- ④学校の避難訓練の前に各学年の児童に避難時に気をつけることや留意点を知らせると共に、訓練後に成果や課題について話し合った。
- ⑤消防署の方や高知大学の先生から地震や津波から避難する方法について話を聞いたり、新聞社の方に新聞づくりのノウハウについて学んだ。
- ⑥町内の避難場所をフィールドワークし、デジカメで危険場所を撮影して町の地図にまとめた。
- ⑦防災に関する新聞を発行して、保護者・地域の方に配布した。
- ⑧友だち集会や参観日に学習成果を発表した。

6年生の実践では、人前で自分の意見を述べたりすることの苦手な児童に自信を持たせ、防災に対する確かな知識と行動力、言語力を身に付けることができた。昨年の3月11日高知県沿岸でも大津波警報が出されていたが、保護者と共に下校した児童の何人かは海岸に津波を見に行っていた。このような意識であったが、学習を進めるうちに地震や津波の本当の恐ろしさに気づき、町内の人々にそれを伝えたいという気持ちに変わっていった。自



分たちで選んだ表現方法は新聞を作って町内に配布するという方法であったが、多くの方に読んでもらえる新聞づくりの難しさを痛感した。実際に新聞記者の方から、見出しで伝えたいことを強調することや伝えたい内容の要点をリードとすることなど紙面作りのポイントを習うことができ、国語の勉強の大切さに気づくことができた。2月には、町内の消防団員の方など約100人の保護者・地域の方や他の児童の前で学習発表会を行うことができた。また、作成した新聞を町内に配布することもできた。さらにこの取り組みを高知新聞や朝日新聞高知版が記事として報道してくれたことも6年生の児童にとっては大きな自信となった。

## 5 研究の成果と今後の課題

研究の成果としては、総合的な学習の時間と各教科における言語活動と関連させた指導などを通じて、表現力やITC活用力を育成することができた。そして、自分たちの表現したいことを適切な方法でプレゼンテーションしていく力を身につけることができた。また、この取り組みを通して、自分や友だち、ふるさとの良さを見つけ、ふるさとに誇りを持つことができた。また、デザイナー、広告会社やテレビ局、新聞社など多様な職種の「本物」の方との出会いや学びを通して啓発物や発表内容を充実させることができた。同時に、「〇〇さんのような仕事がしたい」と体験を将来の夢に繋げた児童もいた。さらに、小学校の取り組みを様々な手段で発信したことによって、高齢化が進む町全体を活気づかせることができたのではないかと思う。

本校の学校評議員からも「生活の中から課題を見つけ、先輩の話を聞いたり地域の伝統芸能に学んだりするなど、地域の力を借りて生きた学習ができています。」「テレビ等で取材を受けている児童の姿を時々見るが、堂々と受け答えができています。小規模校だからこそできる学年を超えた仲間たちとの触れ合いを大切に、集団生活を通して仲間づくりに取り組んできた成果である。」という評価をいただくことができた。

課題としては、児童の体験的・問題解決的学習を進めるために、教職員の企画力や指導力（ITC活用力も含め）をさらに向上させる必要がある。また、地域やマスコミ、企業とタイアップするためには、開かれた学校づくりをさらに進め、連携から協働へと質的向上を図っていく必要があると考えている。

インターネットを活用した調べ学習では、適切なページの選択、必要な情報の抽出などの課題がなかなか克服できていない。今後、児童のメディアリテラシーを高める系統的な情報教育の充実にさらに取り組んでいきたい。

〈いきいきタイムの実践と地域の文化発信〉※3年生以上

|    | 活 動   | 活用機器等   | 発信方法   |
|----|---|---|--|
| 3年 | 【吉川安全マモリ隊】<br>・安全カルタ作成<br>・安全マップ作成<br>・危険周知ポスター・看板作成  | デジタルカメラ<br>書画カメラ                                  | 高齢者とカルタ大会の実施<br>安全マップ町内回覧<br>町内にポスター、看板設置<br>ホームページ<br>友だち集会での発表                 |
| 4年 | 【吉川じまんの仕事】<br>・校区の仕事体験<br>(鮎の養殖、保育所、ラッキョウ農家、海産物店)<br>・ラッキョウ栽培、調べ学習  | デジタルカメラ<br>書画カメラ<br>パソコン(インターネット)                 | テレビ番組での放送<br>(香南ケーブルTV)<br>ホームページ<br>友だち集会での発表                                   |
| 5年 | 【旅するラッキョウ～ファイナル～】<br>・天然色市場や市内の量販店での販売<br>・店舗や工場でのレシピのプレゼンテーション<br>【あるある吉川大作戦】<br>・総合センター、天然色市場での発表会<br>・CM制作、発表会 | デジタルカメラ<br>デジタルビデオカメラ<br>パソコン(インターネット)<br>パワーポイント | 市内での販売活動<br>テレビ番組での放送<br>(香南ケーブルTV、テレビ高知、高知放送)<br>町内での発表会<br>ホームページ<br>友だち集会での発表 |
| 6年 | 【命を守り生きる】<br>・防災新聞の製作、町内回覧<br>・PTA学習会での発表   | デジタルカメラ<br>パソコン(インターネット)<br>パワーポイント               | 発表会<br>新聞配布・町内回覧<br>高知新聞・朝日新聞への掲載<br>ホームページ<br>友だち集会での発表                         |

## 6 おわりに

「地域や企業を巻き込んだ本物の学びを通し、本物の力を伸ばす活動を全ての学年において展開したい、その過程で自分や友だちを認めあえる力を育てたい」と考えて、全力で取り組んできた1年であった。

11月末に実施した学校アンケート結果では、「いきいきタイム(総合)での授業は楽しい」という質問に対して肯定的な回答が95%あった。地域に出かけ、様々な体験的・問題解決的学習を進めることが楽しさに繋がっていると思われる。また、このような学習は、教科の学習にも繋がり、児童のコミュニケーション能力や学力の向上に影響している。

今後とも少人数を生かしたいいきいきタイムの実践を進めることによって、児童に「自信と誇り」を身につけさせ、保護者や地域に愛される学校を全教職員で目指していきたい。